

今年も送ってもらった！ みんなで触った！ オホーツク海だけにしかできない

流水

「流水な流事業」を行っている 北海道建築士会 宗谷支部より、今年も流水を送っていただきました。冷たい海だから氷が浮いていて当たり前、と思いそうになりますが、実はオホーツク海の地形だからこそできる“特産物”(?)なのです。シャチが迷いこんだ、という話も今年はありません。そのオホーツクの流水だということ、ぜひお子さんに話してあげて下さい。



寒くても、子どもは ひたすら「ごしごし」…

ひと 前編
シャチ集団死 2頭からミルク
北列島周辺の海岸で先月7日、1頭のシャチが死体に見られ、自らの死が確認された。オホーツク海に沈んだシャチは、食料不足が原因と推定されている。

群れ 子をかばい

流水避けきれず 群れ 子をかばい
オホーツク海は、冬になると氷が広がる。シャチは氷の上を歩くことができない。そのため、氷の上を歩くシャチは、氷の下に潜る。シャチは、氷の上を歩くことができない。そのため、氷の上を歩くシャチは、氷の下に潜る。

なぜシャチが
出られなくな、たか
は不明とか。テレビのニュース
でも流れました。

海道の約80%が凍り付く。
北海道立オホーツク流
氷科学センターによる
と、これだけの氷を溶か
すのに必要な熱量は日本
の原油輸入量の約25年分

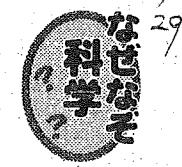
流水、なぜオホーツク海だけに

大島助教教授は「オホ
ツク海は底の浅い鰐に入
った水のようなものだ。
底の深い太平洋や日本海
では凍る前に春になって
しまふ」と話す。

一方、北海道でも太
平洋側や日本海側は、
オホーツク海に比べ塩
分濃度が高い。対流が
深い所まで起こるた
め、冷えにくく、凍りに
くいのだ。

オホーツク海の冬の風
物詩として知られる流
氷。毎年、この時期にな
ると北海道のオホーツク
海沿岸に押し寄せる。流
氷はどうしてできるのだ
ろうか。また、なぜ
オホーツク海だけに
あるのだろうか。

オホーツク海は南
北約2000kmの細
長い海だ。毎年11月
ごろになると北緯55
度のサハリン北西の
シヤンタル諸島周辺
などが凍り始める。
その後、結氷域がサ
ハリンの東岸に沿っ
て拡大し、1月初め
にサハリン南端まで
到達。1月中旬ごろ
から北海道で見られ
るようになる。3月初
め、冷えにくく、凍りに
くいのだ。



にも相当するとい
う。流水ができるのは「海
水の塩分濃度に秘密があ
る」と大島慶一郎・北海
道大低温科学研究所助教
授(海洋物理学)は説明
する。

オホーツク海は、島や半島で囲まれているところへアムール川の真水が流れ込んでおり、寒気が吹きつけると結氷するとか。塩水は、対流が起これるので凍りにくいのだ「そうですが」…その辺のリクツがちょっと葉佳しそうです。(記事は2つとも今年の毎日新聞より)

【河内敏康】